



2024 年5月 15 日

各 位

会 社 名 富 士 興 産 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 川 崎 靖 弘  
(コード番号 5009 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 大 野 信 一  
(TEL 03-6849-8803)

## 中期経営計画(2024 年度～2026 年度)策定のお知らせ

当社(社長:川崎 靖弘)は、このほど新たな「中期経営計画(2024 年度～2026 年度)(以下「本中計」といいます。)」を策定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本中計の概要

当社グループは、環境負荷低減に資する次世代エネルギーとして、2023年よりバイオディーゼル燃料(BDF)の供給に着手してまいりましたが、本中計では、より供給体制の拡充を図り、環境対応エネルギーのコアビジネス化を「加速」してまいります。

また、積極的な投資によるリサイクル事業の「拡大」を進めるために、グループ会社である環境開発工業に蓄積された経験、知見と創造性を最大限活用し、地球環境の保護に貢献することで、新たな当社グループの企業価値向上に努めてまいります。

加えて、資本コストを意識しながら投下資本効率を高め、着実な事業戦略の推進により、さらなる「成長軌道」を創造してまいります。

#### 2. 長期ビジョンの内容

「**環境のグリーン化対応とエネルギーの供給を通して社会に貢献するエネルギー商社であり続ける**」ことを長期ビジョンと位置づけ、当社グループのマテリアリティに積極的に取り組むとともに、事業戦略強化ならびに経営基盤強化に注力し、環境対応型事業のリーディングカンパニーを目指して尽力してまいります。

当社マテリアリティ(重要課題)

- +環境への貢献
- +良質な製品・サービスの提供
- +人材育成・社内環境整備
- +地域社会への貢献
- +コーポレートガバナンスの強化

3. 本中計の内容

ア. 位置づけ

前中計からスタートいたしました BDF 等の環境対応エネルギー事業、リサイクル事業を中心とする「拡大・成長期」と位置づけ、主に次の3点を推進してまいります。

- a. BDF の拡販および製造拠点の拡充・増設
- b. リサイクル事業の強化およびエリア拡大
- c. 高水準の総還元性向と成長投資の両立

イ. 目標とする経営指標

積極的な投資を実施することで、事業拡大を図ることにより利益を拡大し、本中計最終年度には ROE8.0%以上を達成することを目指します。

利益目標といたしましては、主に BDF を含む石油事業の新規ビジネス、および海外展開と、リサイクル事業の強化による利益の最大化を図り、本中計最終年度には経常利益で 14.5 億円を計上することを目指します。

- a. ROE: 8.0%以上(本中計最終年度)
- b. 経常利益: 14.5 億円(本中計最終年度)

ウ. 非財務目標

人材育成・社内環境整備を念頭に、本中計よりエンゲージメントの向上と働きやすい環境づくりに向け、非財務目標を設定いたしました。

指 標	2026 年度目標
有給休暇消化率	70%以上
育児休暇取得率	100%
キャリア採用者数	20 名以上
女性管理職者数	11 名以上
教育関連費	1,650 万円以上
研修受講者数(のべ数)	700 名以上

エ. 株主還元方針

成長投資による収益力強化を図りつつ、引き続き、高水準の総還元性向を維持していくことを方針とし、総還元性向は3年平均で80%以上、ならびにDOE 5.0%以上を目指してまいります。

a. 総還元性向： 80%以上(3年平均)

b. DOE： 5.0%以上(3年平均)

また、キャッシュアロケーションにつきましては、3年間で約120億円のキャッシュインフローを見込んでおり、M&Aを含めた成長投資を行いつつ、株主還元を努めてまいります。

添付資料：2024-2026年度中期経営計画

以上



2024 - 2026年度

# 中期経営計画

---

富士興産株式会社  
(5009)

## ● 新中期経営計画概要(24年度 - 26年度)

加速

環境対応エネルギーの  
コアビジネス化の加速

拡大

積極的な投資による  
リサイクル事業の拡大

成長

着実な事業戦略の推進により  
成長軌道へ

## ● 財務目標および株主還元方針

経常利益(26年度)

14.5 億円

ROE(26年度)

8.0 % 以上

総還元性向(3年平均)

80 % 以上

DOE(3年平均)

5.0 % 以上

# 前中期経営計画の振り返り

## 前中期経営計画基本方針

- 次世代エネルギーの供給企業への構造転換を果たしていくための**スタート期**（シェアの拡大）
- 当社の意識改革、人材育成、外部からの人材の招聘等の組織・人事改革も同時に実施



## 23年度実績

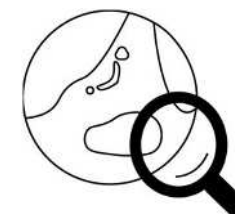
達成	経常利益	23年度予算
9.5	億円	9.5億円
達成	総還元性向	中計目標
100	%	100%
ROE	23年度予算	
6.4	%	6.8%

## トピックス

- 各事業の利益積み上げにより**経常利益予算を達成**
- 総還元性向100%を目安とした**株主還元強化**
- バイオディーゼル燃料(BDF)の**製造・販売を開始**
- 環境開発工業のM&Aによる**リサイクル事業への進出**

## 長期ビジョン

環境のグリーン化対応とエネルギーの供給を通して  
社会に貢献するエネルギー商社であり続ける



## 当社のマテリアリティ(重要課題)



環境への貢献



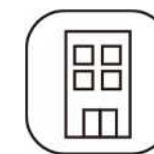
良質な製品・  
サービスの提供



人材育成・  
社内環境整備



地域社会への貢献



コーポレート・  
ガバナンスの強化

# 事業ポートフォリオの移行イメージ

## ■ 石油・環境関連

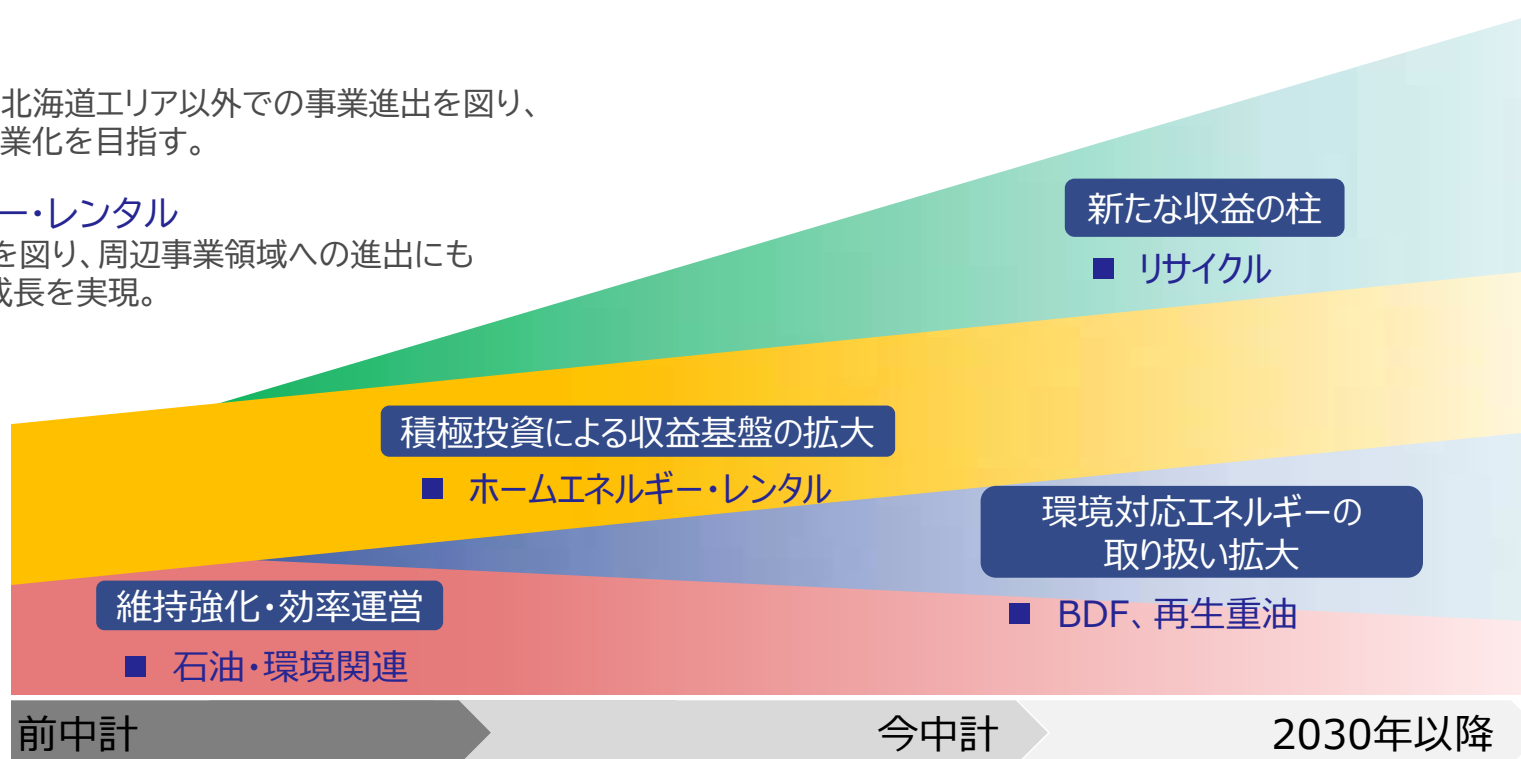
環境対応エネルギーの取り扱いを前提としたサプライチェーンの拡充と強化に努め、安定的な収益を維持し、エネルギー商社としてプレゼンスを高める。

## ■ リサイクル

積極投資により、北海道エリア以外での事業進出を図り、全国展開、コア事業化を目指す。

## ■ ホームエネルギー・レンタル

収益基盤の拡大を図り、周辺事業領域への進出にも挑戦して確実な成長を実現。





# 新中期経営計画の位置づけ

21-23年度  
前中期経営計画

スタート期

BDFの製造・販売開始

リサイクル事業への進出  
(環境開発工業のグループ化)

株主還元強化

24-26年度  
新中期経営計画

拡大・成長期

BDFの拡販  
および製造拠点の拡充・増設

リサイクル事業の強化  
およびエリアの拡大

高水準の総還元性向と  
成長投資の両立

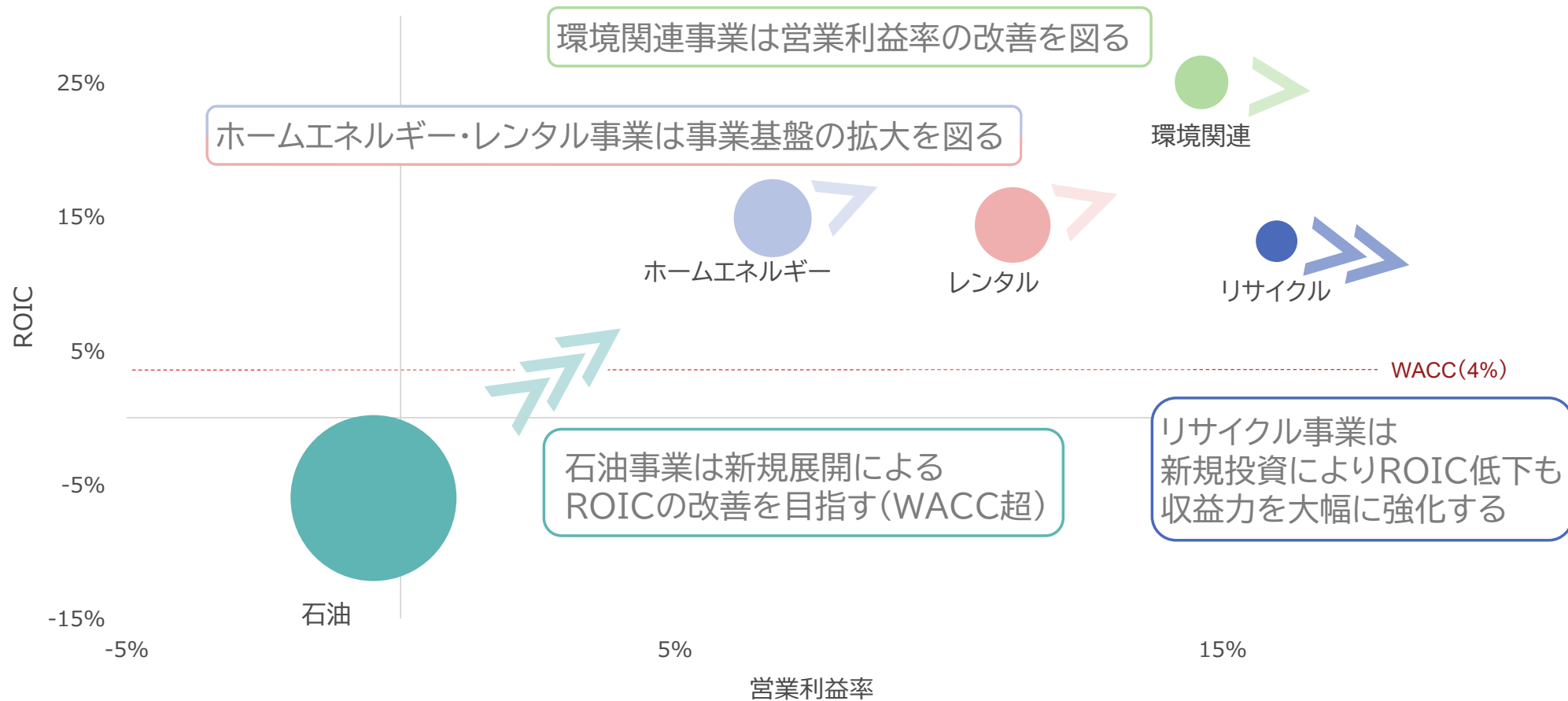
27年度以降

発展期

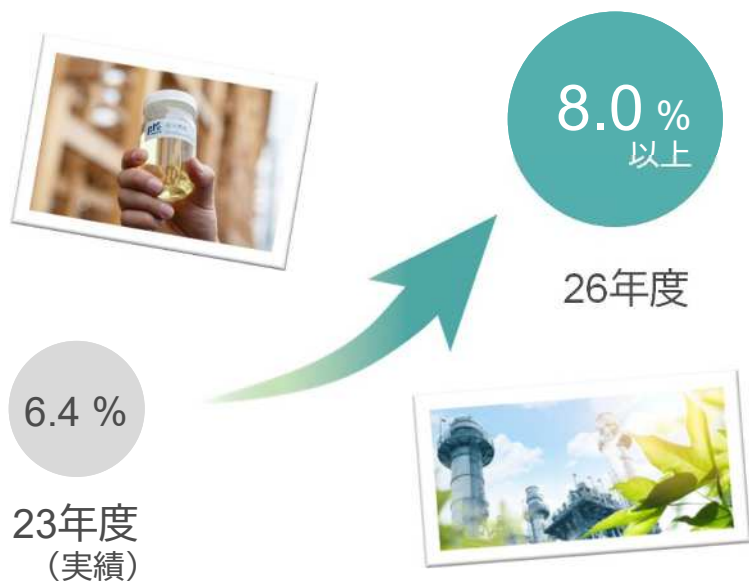
環境対応型事業の  
リーディングカンパニーへ



# 現状および今後の方向性(セグメント別ROIC分析)

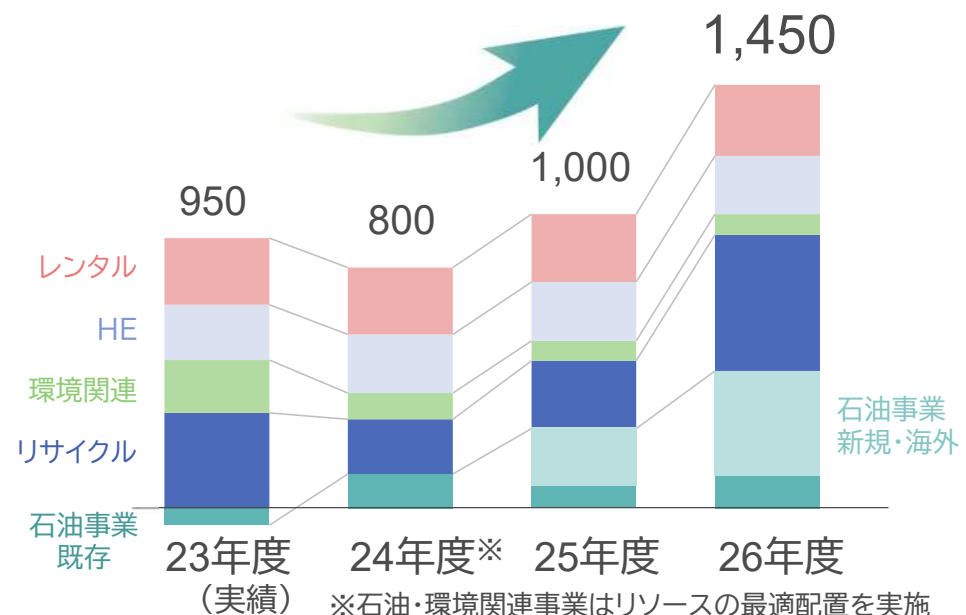


## ROE目標



## 経常利益目標

(単位:百万円)



BDFを含む石油事業の新規展開と  
リサイクル事業の強化による利益の最大化とROEの向上を目指す

## エンゲージメントの向上と働きやすい環境づくり

指 標	23年度実績	26年度目標
有給休暇消化率	60%	70%以上
育児休暇取得率	50%	100%
キャリア採用者数	9名	20名以上
女性管理職者数	5名	11名以上
教育関連費	1,083万円	1,650万円以上
研修受講者数(のべ数)	352名	700名以上



成長投資による収益力強化を図りつつ、引き続き、高水準の総還元性向を維持

## 総還元性向

3年平均 **80%以上**

(平均配当性向※:29.22%)

※ 22年度東証スタンダード企業 (出典:日本取引所グループ調査レポート)

## DOE

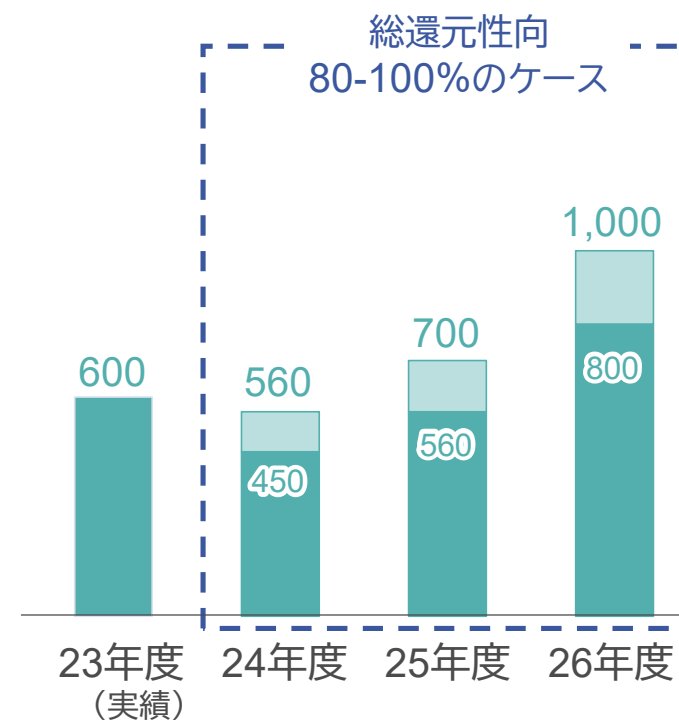
**5%以上**を目指す

(平均DOE※:1.93%)

還元総額イメージ (単位:百万円)

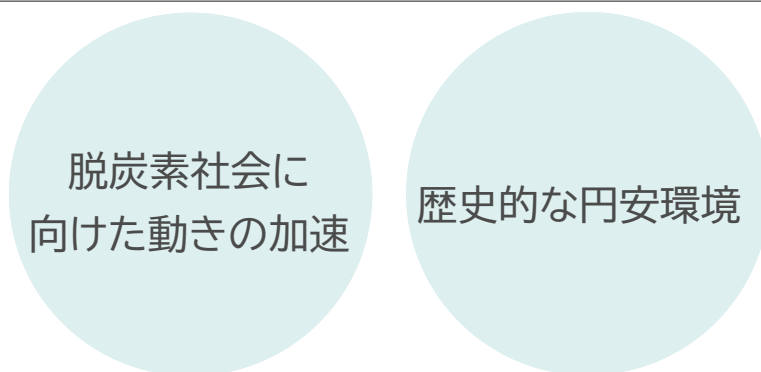
## キャッシュフロー

(単位:百万円)



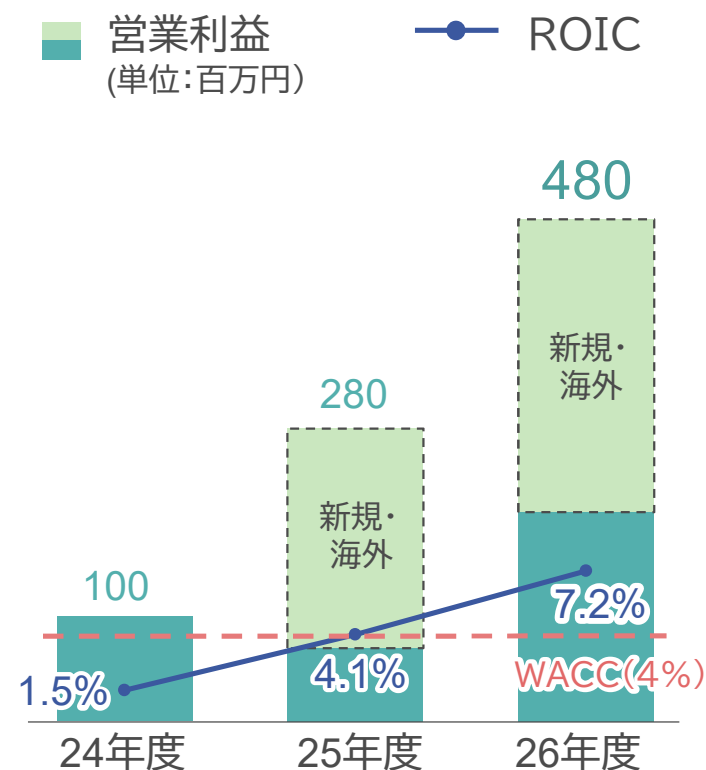
## BDFを含む新規事業と海外事業の展開

### 事業環境



### 事業戦略

- BDFおよび再生重油の製造拠点拡充、増設
- 輸出事業の展開による新たなビジネスチャンスの獲得
- 石油製品販売のサプライチェーンの維持・強化



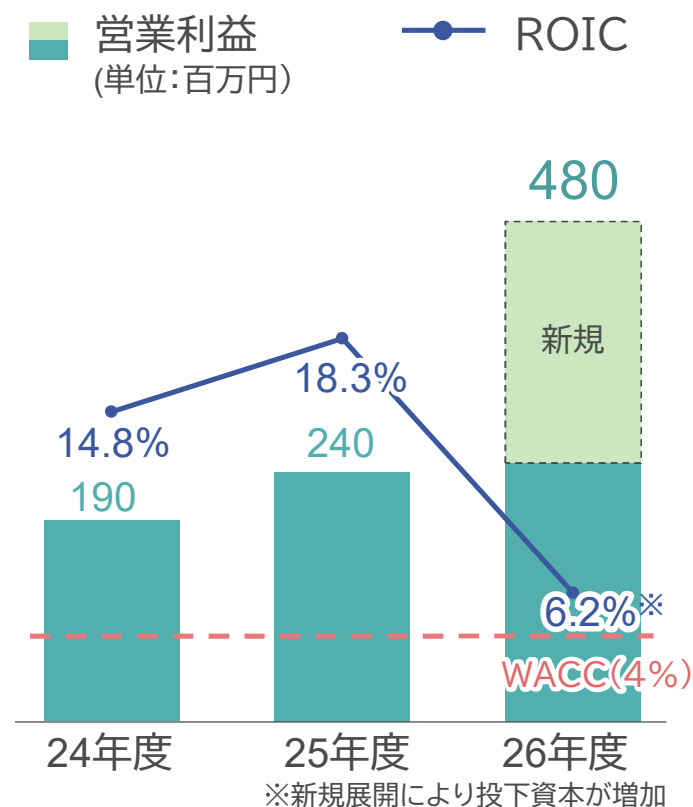
## 環境のグリーン化対応の加速

### 事業環境



### 事業戦略

- 変化に対応できるリサイクル体制の構築
- 再生重油の新生産方法の確立による効率化
- 漏油事故等への効率的な対応による環境保全の推進



## 新規商材の模索およびリソースの最適配置

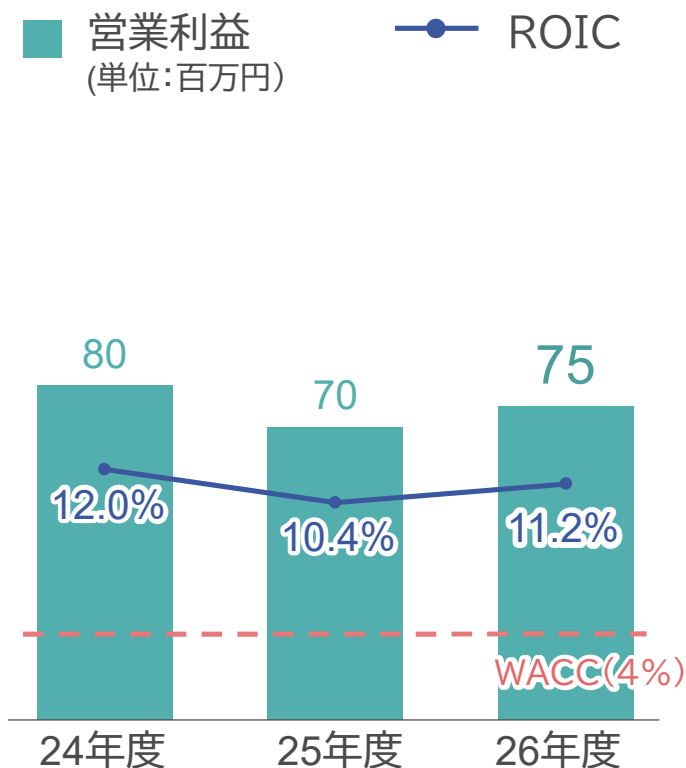
### 事業環境

環境負荷低減への  
関心の高まり

国内外の  
アドブルー需要増

### 事業戦略

- 環境負荷低減に資する新商材のラインナップ拡充
- アドブルーの販売チャネルの拡大
- 太陽光発電所の発電効率の維持、出力抑制対策





## 事業を取り巻く環境変化へフレキシブルな対応

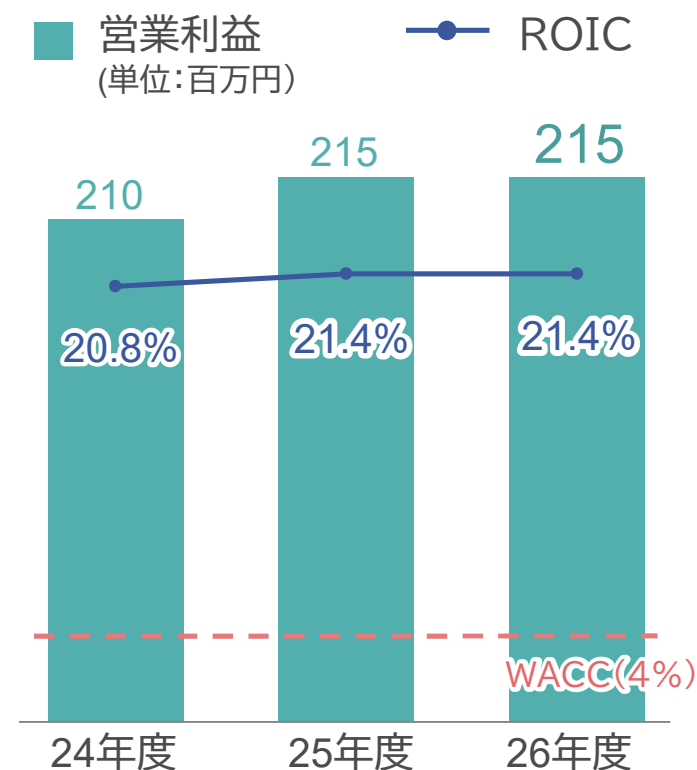
### 事業環境

液化石油ガス法改正  
による業界の変化

温暖化、節約意識  
による消費量減

### 事業戦略

- 需要の多様化に対応し、既存および新規顧客の満足度向上を図る
- IoTを活用した効率的な配送網の構築
- 省エネ機器など、環境対応商材の取り扱いを拡大



## きめ細かな営業活動による事業基盤の拡大

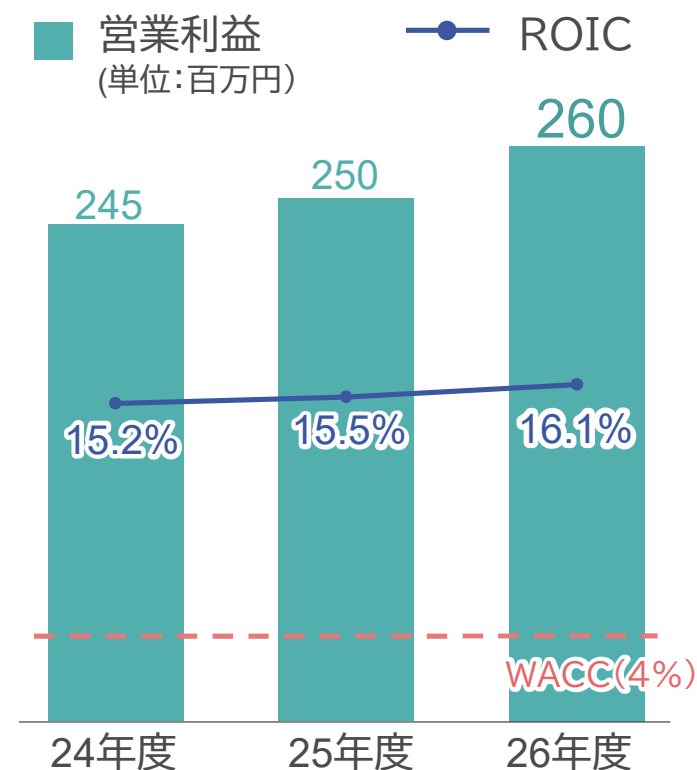
### 事業環境

建機の納期遅延

高コスト化による  
レンタル需要増加

### 事業戦略

- 安定的な機材供給による顧客満足度の向上
- 顧客の要望に沿った新規提案型事業活動に注力
- 他社との差別戦略の継続実施



## 事業戦略強化

- BDFのコア事業化の加速
- リサイクル事業拡大に向けた成長投資
- 海外事業の展開
- 既存事業価値の最大化

## 経営基盤強化

- グループ会社運営の最適化
- ホールディングス化による  
機動的M&Aの実行
- パートナー企業とのアライアンス
- GX活動の推進



環境のグリーン化対応とエネルギーの供給を通して  
社会に貢献するエネルギー商社であり続ける